

海外安全対策情報（平成28年1月～3月）

在アゼルバイジャン大使館

1. 社会・治安情勢

- (1) 当国においては、治安は比較的安定しているが、市内広場、政府庁舎付近、駅周辺等において、散発的に小規模な反政府抗議集会が行われることもあるため、治安当局との衝突に巻き込まれないよう注意を要する。
- (2) 本年1月中、複数の地方において、アゼルバイジャン通貨切り下げによる物価高騰を理由として、地元企業や地方自治体等に生活困窮を訴える違法デモが散発したものの徐々に鎮静化した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 概要

内務省発表によると、平成26年の犯罪認知件数は24,607件（前年比9.9%増）、うち、強盗・窃盗等の経済事犯は9,831件（前年比13.3%増）である。体感治安は比較的安定しているものの、一般的な防犯意識は必要である。

(2) 邦人被害事案

期間中、認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 期間中発生していないが、当国内外においてシリアとイラクにおける武装勢力への参加等の容疑により当国国民が数十名逮捕されており、一般的な危機管理意識を要する。なお、平成27年9月、当国ナヒチェヴァン自治共和国とトルコとの国境のトルコ側において爆弾テロ事件が発生しており、同国境付近では注意を要する。
- (2) 平成27年11月26日、バクー市郊外のナルダラン村において、治安当局によるイスラム過激派組織摘発の際、同組織側が銃器及び爆発物で抵抗したため銃撃戦となり、警察官2名及び過激派組織側5名が死亡したほか、当国各地において同組織関係箇所を捜索した際、銃器や爆発物が多数押収されている。同組織の支援者が多いと認められるナルダラン村には当分の間、近づかないことが無難である。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、認知していない。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題
特に問題は発生していない。